

第13回 市民フリースピーチ制度 協議結果

パートナーシップ宣誓制度の導入について

住みよいまちづくりの一環として、パートナーシップ制度の導入を提案する。

パートナーシップ制度は、同性同士の婚姻が認められていない日本で、自治体が独自に性的マイノリティ（LGBTカップル等）に対し、結婚に相当する関係とする証明書を発行し、様々なサービスや社会的配慮を受けやすくする制度。218自治体が導入し、人口普及率は52.6%。県内では10自治体。

目的は、①誰もが住みやすい犬山市のまちづくり、②LGBTカップルの利便性を上げる、③制度を作ることで、理解促進、偏見を取り除く、④子供たちや若者の未来への希望。

LGBTの人は、全人口の10%いると言われるが、周囲の偏見をおそれカミングアウトしない人が多い。海外の例からも、制度を整備することで、理解促進に繋がる。

子供や若者の理由不明の自殺の中には、自分のセクシャリティに悩んで死を選んだ子も多いと言われ、社会が受け皿をつくることは大事。社会に容認されているということが、安心感を与える。

異性婚に比べ当事者カップルには、アパートの入居や病院の付き添いを断られるなど、多々障害となるものがあり、これらの解消は住みよいまちづくりの一環になる。

すべての人が住みやすい犬山のまちづくりのため、特に子供たちの未来のために道を開きたい。

【対応】

総務委員会で協議する。

【対応先での協議結果】

各常任委員会では毎年テーマを定めて所管の分野に関する調査研究活動を行っています。総務委員会の今年度の調査研究テーマとして採用しましたので、8月に県内他自治体への視察を実施し、研究を進めます。

【その後の対応】

総務委員会で8月3日に先進地視察を実施し、その結果も踏まえ9月22日に当事者を交えた意見交換会を実施しました。今後も引き続き関係者と意見を交換していく予定です。

市内小学校でのいじめ防止基本計画の児童・生徒・保護者への周知、共有について

学校のホームページでいじめ防止基本計画というものを目にした。いじめ防止対策推進法では、学校はいじめの防止のための対策に関する基本的な方針を定めると説明があり、各学校で対処のあり方を示す計画が掲載されていることを知った。しかし、知人に聞いてもほとんどの保護者が知らなかった。

多くの子供たちや保護者と話す中で、スマホを持つ年齢が年々低年齢化し、SNSなどで顔の見えない嫌がらせやいじめが日常茶飯事と聞いている。もしいじめが起きたら、どこに相談したらよいか、どのように学校が対応してくれるのか知っておけば、安心して地域で子育てができる。

私は、法律や基本計画を周知してもらってこそ、その計画が意味のあるものだと思う。

そこで、年に1回でもいいので、例えばホームルームや学級活動の時間を使い、このいじめ防止基本計画について、子供たちや保護者に周知し、子どもたちには、こんな法律があって、どの子も皆、守られているのだと知らせてあげるよう提案する。

【対応】

民生文教委員会で協議する。

【対応先協議結果】

既に、各学校において学級活動の時間にいじめ問題について話し合う等の取り組みが行われており、また学校によっては「いじめ防止基本方針」をPTA総会の折に配布する等の方法で周知が行われています。1年に1回キャンペーンのような形で、さらに周知してもらえないか、学校現場へ要望します。

第13回 市民フリースピーチ制度 協議結果

3	<p>「魚・野菜が買えない」地域限定密着高齢者対象社会生活問題について</p> <p>しばらくフリースピーチに参加できる機会がなく3年ほど前の話になってしまうが、生鮮食品を扱うスーパーであった清水屋がなくなり、跡地はどうなるかと近隣住民は心配していた。</p> <p>結果、跡地はドラッグストアとなり、近辺にスーパーがなくなったため、清水屋で買い物していた人は犬山駅東のヨシツヤまで行くことになったが、高齢者は重い荷物を持って帰れず苦勞している。あった店がなくなるということは、特に高齢者が多いまちになってきているので、これはそのうち身近な問題になると思う。</p> <p>今回は清水屋という生鮮食品店の問題で、時点も昔の話なので、今どうしようという意味ではないが、ほかにもいろいろあるんじゃないかと、市議会議員も、スピーチを聞いている市民も、一度ちょっと考えてもいいんじゃないかと思いきスピーチした。</p>
	<p>【対応】</p> <p>柴山議員が対応。議員が改めて発言者からお話を伺います。</p> <p>【その後の対応】</p> <p>発言者の意向を踏まえ、総務委員会において9月22日に発言者との意見交換を実施しました。</p> <p>発言にあった該当の地区においては、他の店舗が開店したことで状況が改善され、課題は緩和されています。今後の状況を議会としても注視していきたいと考えます。</p>
4	<p>犬山羽黒城跡の再発信について</p> <p>来年の大河ドラマは「どうする家康」が放映される。市内羽黒地区には、小牧長久手の戦いの前哨戦で、後の高知城主山内一豊が守った羽黒城跡がある。この羽黒城跡の再発信を提案する。</p> <p>犬山市史の別巻に羽黒城跡石碑の記事があり、愛知県知事の松井茂氏が建立とある。城跡の近くには、今年大河ドラマで俳優の中村獅童が演じた梶原景時の築造した光善寺がある。現在は興禅寺と改名し、梶原景時公の木造が安置されている。</p> <p>犬山市史に記載がある羽黒城跡を、羽黒地区における観光名所として、もっと力を入れてアピールするのが良いと思う。昔、先人が争いするとき、どこのルートを通して小牧長久手の戦いを演じたかを、現代においてモデルコースとして再現するのも一案だと考える。コース上のポイントに、合戦の様子の説明文等があれば、観光ルートにできる。</p> <p>犬山の観光は祭の車山や鶺鴒等、犬山地区中心だが、羽黒地区等の観光にも、もう少し力を入れていってほしい。</p>
	<p>【対応】</p> <p>大井議員が対応。観光ルートの案などがあれば議員が観光課へご紹介します。</p>